

令和 2 年度 学校評価 自己評価書 (2 学期)

1 学校の重点目標

1 学力向上	2 人間力向上
3 体力・気力の向上	4 地域・郷土に開かれた学校

2 教育目標について

具体目標 (校訓)	評価の観点	職員
1 考える人 (英知)	めざす生徒像	3.0
2 心豊かな人 (情操)	めざす学校像	3.2
3 たくましい人 (健康)	めざす教師像	3.1

3 実践 5 項目について

評価の観点	職員	評価結果と改善方策
1 基本的な生活態度の定着	2.9	・指導力向上のために研究授業を実施する。 ・かごしま学力向上 web システムの評価問題への計画的取組を推進する。 ・あいさつや掃除等はよくできている。さらに生徒会の自治力の向上を目指す。
2 学力向上	2.9	
3 勤労、協調の精神の高揚	2.9	
4 礼儀と正しい言葉遣い	3.3	
5 環境の整備、美化	2.9	

4 学年・学級経営について

評価の観点	職員	評価結果と改善方策	
学 年 経 営	1 学年目標の実践	3.1	・各学年とも生徒指導や不登校生徒への支援にチームで取り組んでいる。今後、学年間の連携や協力も強化していく。 ・コロナ禍で実施できなかった P T A 活動をようやく開くことができた。
	2 学年の連携・一貫性	3.3	
	3 他学年との連携	2.8	
	4 PTA との相互理解・連携	2.4	
学 級 経 営	1 学級目標の適正化	3.0	・関連機関と連携し、不登校傾向の生徒へのサポートを計画的に進めていく。 ・提出物の見届けによる家庭学習の定着と個に応じた学習方法の助言等を行う。
	2 学級目標の具体化・実践化	3.0	
	3 学習意欲向上の配慮	3.0	
	4 学級内相互の信頼関係	3.0	

5 努力点について

評価の観点	職員	評価結果と改善方策
1 学習指導の充実	3.0	・GIGA スクール構想の実施に向けてタブレットを用いた授業の研修を推進する。 ・個別指導が必要な生徒の教室復帰に向けた支援に学校全体で取り組む。 ・SNS のトラブル等の防止とその解消を目指し、発達段階に応じた継続的指導をしていく必要がある。 ・安心安全メールで不審者情報等を地域と共有し、登下校の安全が守られるようにしていく。 ・マイリフレッシュデーの設定と実施について、引き続き声掛けを続ける。
2 道徳教育の充実	2.9	
3 生徒指導の充実	3.1	
4 保健・安全指導の充実	3.1	
5 進路指導の充実	3.1	
6 人権・同和教育の充実	3.2	
7 特別支援教育の充実	3.0	
8 教育環境の整備と美化	3.0	
9 情報教育・国際理解教育の推進	2.9	
10 地域に根ざした学校、開かれた学校づくりの推進	2.6	
11 業務改善の推進	2.9	

6 次学期 (年度) に向けての取組

- 教科指導については
 - ・今年度の教育課程の確実な実施。また来年度からの新学習指導要領の実施に向けて、個々の理解を深め、各教科とも観点別評価等の改定に取り組む。
- 生徒指導については
 - ・実践 5 項目を常に生徒に意識させ、落ち着いた雰囲気の中で学校生活が過ごせるようにする。
 - ・個別指導が必要な生徒の教室復帰に向けて、生徒指導委員会や不登校対策委員会で定期的に現状を確かめながら計画的に進めていく。